

経営比較分析表（令和4年度決算）

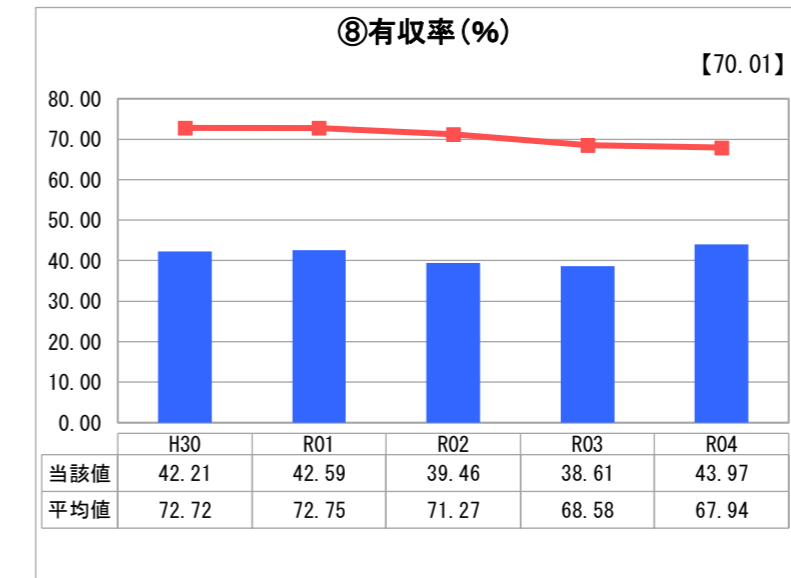
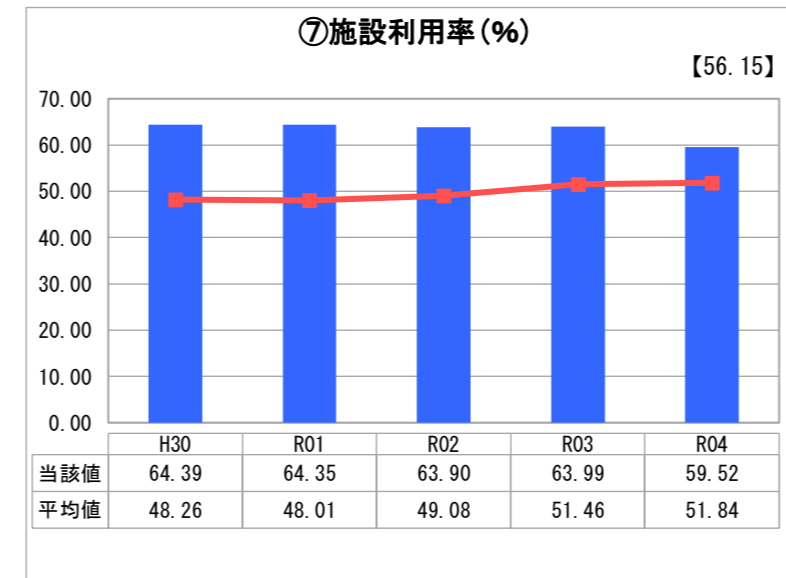
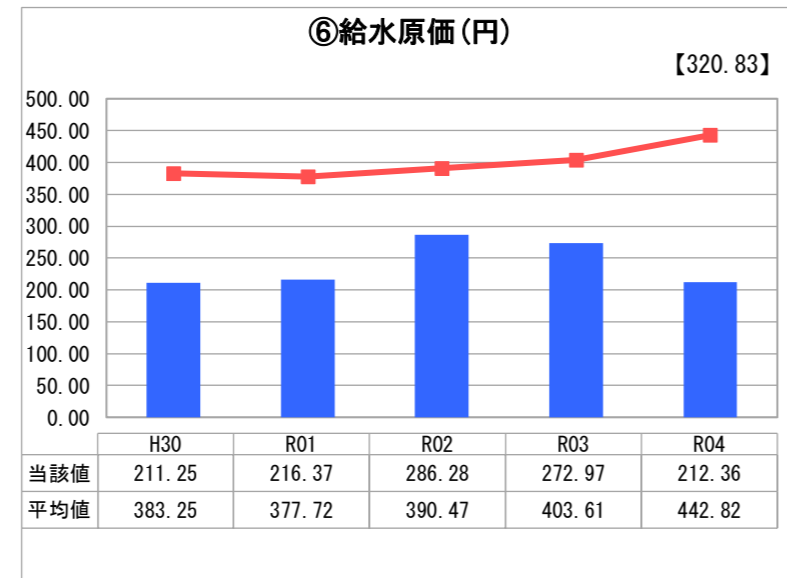
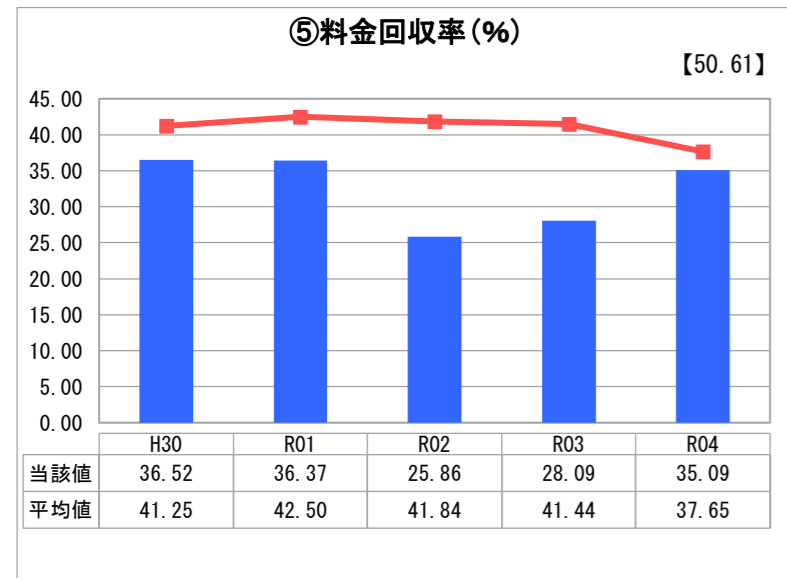
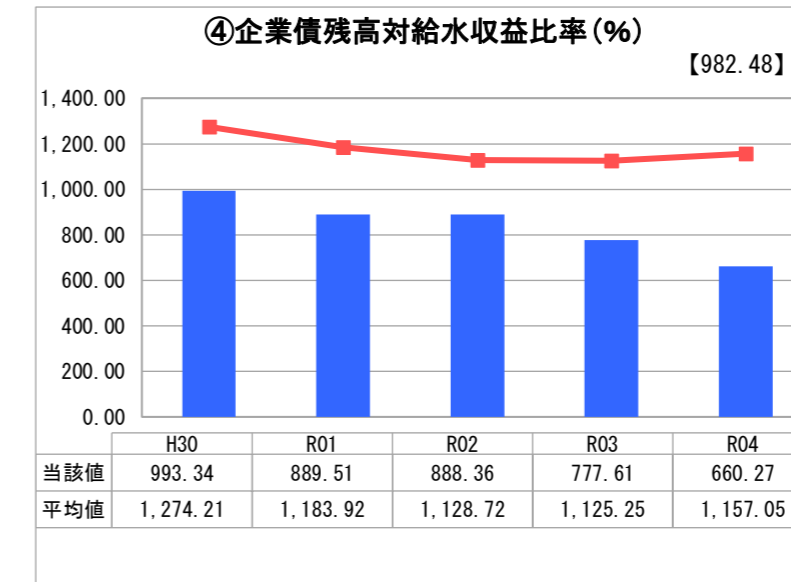
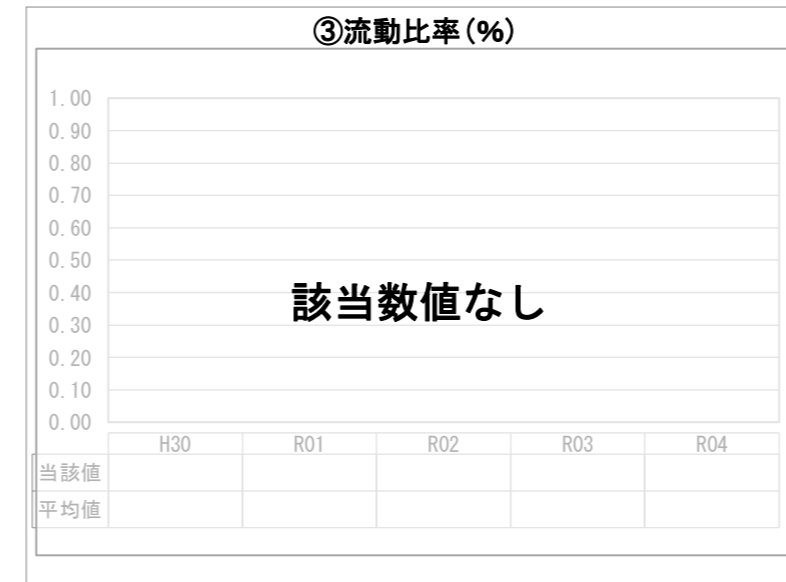
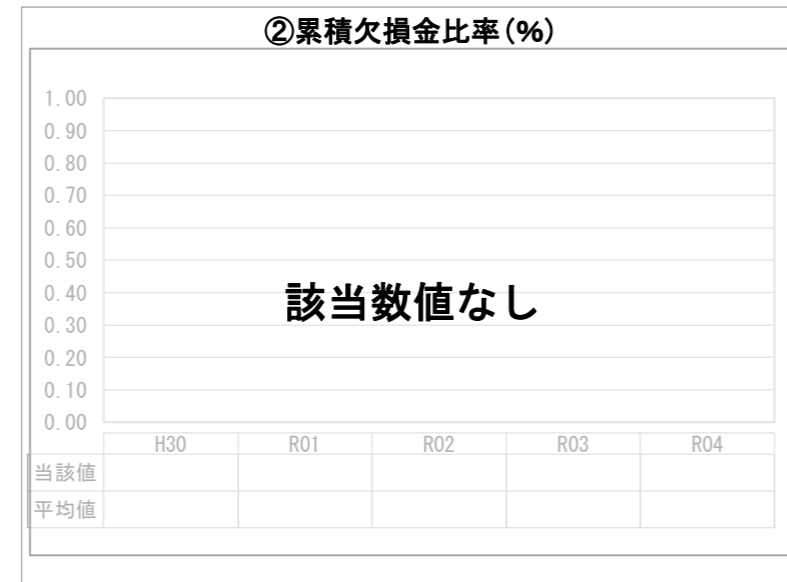
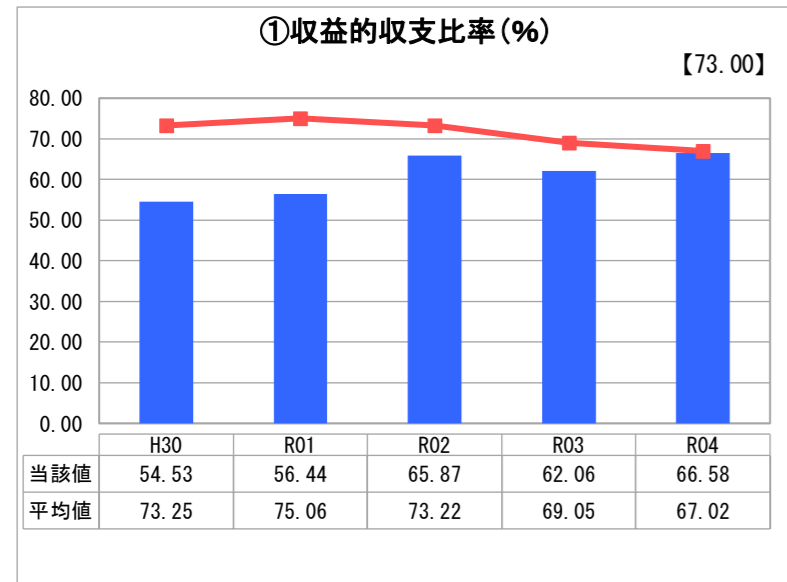
岐阜県 白川村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	96.31	1,254	

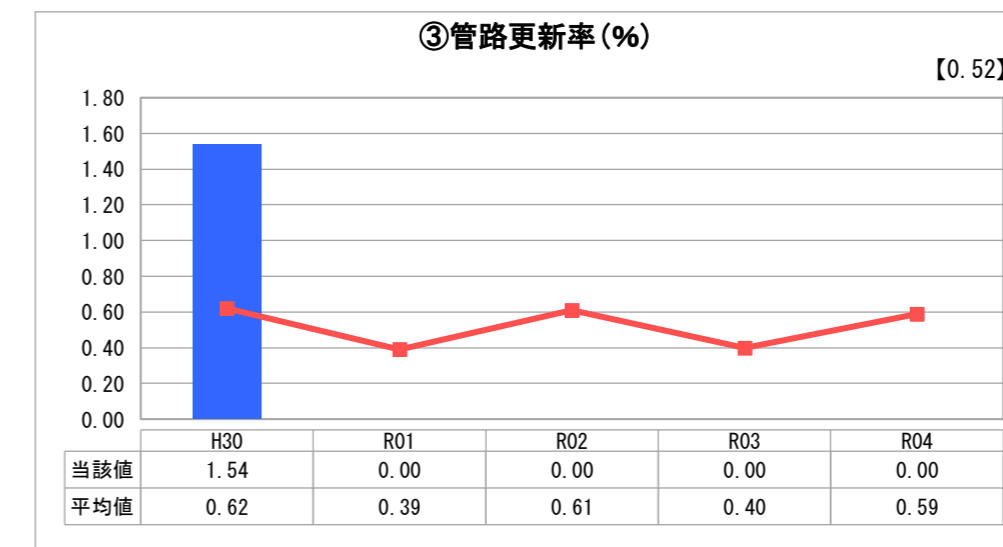
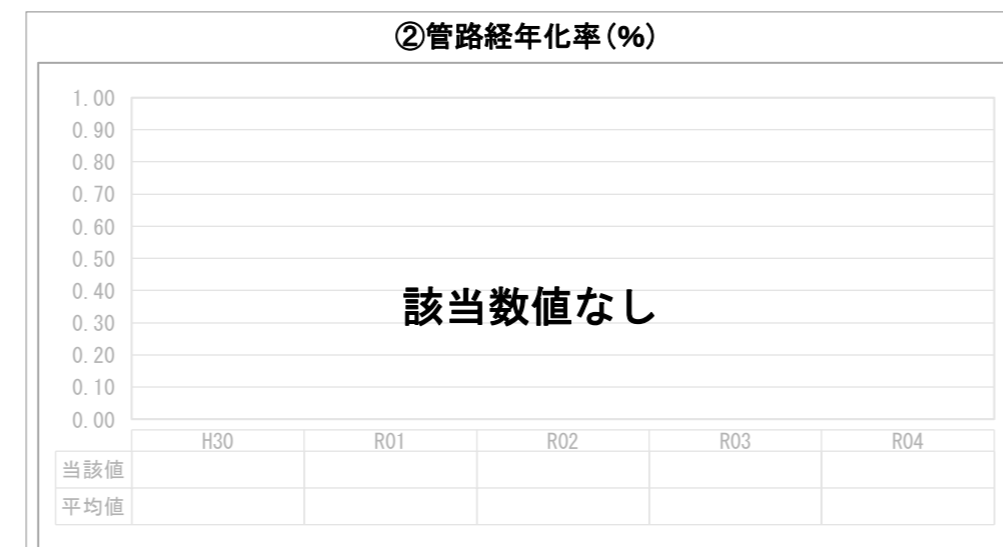
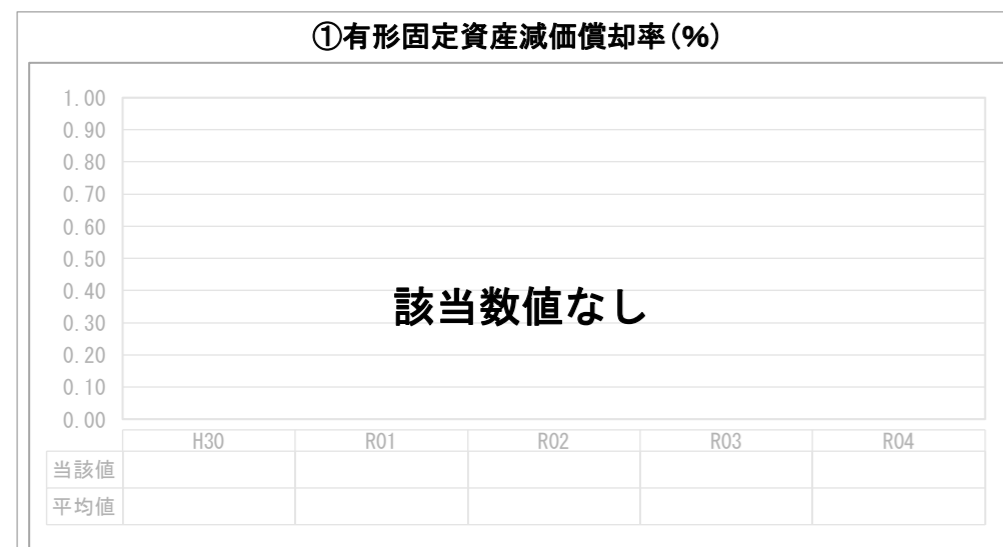
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,513	356.64	4.24
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,435	0.80	1,793.75

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

人口減少により料金収入が減少したため収益的収支比率も減少してきている。有収率が類似団体の平均値よりも低く漏水等が考えられるので修繕していく必要がある。料金収入が少なくなっていることにより一般会計からの繰入金に頼っているところがあるため、料金改定や料金回収率を改善していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

漏水が起りやすい古い管の更新を行っている。漏水箇所の把握が難しく修繕の必要がある箇所の把握が難航している。毎年漏水調査を行い漏水箇所の確認をし、計画的に直していく必要がある。更新が進みにくい要因としては予算の関係や料金収入が少ないことも関係している。

全体総括

今後の人口減少により料金収入が減少することが考えられるが、老朽化する施設・管路などの更新が今後は増加してくる。そのため経費の削減や効率的な業務の遂行に努め、水道会計の健全運営に努める必要がある。料金収入が減少することが考えられるため料金改定の検討をしていく必要がある。